

**社会福祉の推進に貢献  
八峰町社会福祉大会**

11月17日、ファガスにて令和5年度八峰町社会福祉大会が開催されました。初めに会長表彰・感謝状贈呈式が行われ、表彰式では、民生児童委員や福祉団体等の役員・職員として功績が顕著な方、社会福祉活動を継続して行い、地域社会の模範となる方14名および1団体が表彰されました。また、社会福祉のための寄附をされた方2名に感謝状が贈呈されました。

その後、ハッピーマッシュ株式会社との取り組みについての実践発表および秋田県自然保護課ツキノワグマ被害対策支援センターの近藤さんによる「クマによる被害を防ぐために」と題した講演が行われました。



受賞されたみなさんおめでとうございます

**税についての作文で受賞  
佐々木渚咲さん（八峰中3年）**



受賞おめでとうございます

このほど全国納税貯蓄組合連合会および国税庁の主催で行われた令和5年度第57回中学生の「税についての作文」で、八峰中3年生の佐々木渚咲さんの作品「税金の種類と所得税について」が秋田県納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しました。県内からの応募作品数は3,350編でした。

11月22日、八峰中学校において佐々木渚咲さんと記念品が手渡されました。佐々木渚咲さんからは「この作文をきっかけに税への理解を深めることができたので、今後の生活に役立てていきたいです。」と感想が述べられました。

**有事の際の動きを確認  
目名瀧地区で消防総合訓練**

11月5日早朝、目名瀧地区で消防総合訓練が行われ、消防団や八峰消防署、地域住民など、78人が参加しました。この日は、乾燥注意報が継続的に発令される中、目名瀧担い手センターから火災が発生したことを想定した訓練が行われました。午前7時過ぎに、防災無線支局のサイレン吹鳴および緊急放送により火災防ぎ訓練が始まり、住民による初期消火訓練、消防団による中継送水の手順の確認や放水訓練が行われました。併せて警察と交通指導隊による交通整理も実施されました。



地域住民による初期消火訓練

**八峰町関東ふるさと会  
総会・懇親会が開催されました**



鏡開きで始まりました

11月19日、東京都のアルカディア市ヶ谷で八峰町関東ふるさと会総会が行われ、会員のほか、来賓など関係者を合わせて約150名が参加しました。総会では戸田真里会長から活動概要等が報告され、令和4年度事業報告と決算、令和5年度事業計画と予算案が承認されました。

続いて、株式会社龍角散の藤井隆太代表取締役による「龍角散と八峰町のつながり」と題した特別講演も行われました。

その後の懇親会では、きりたんぼ鍋が振舞われ、久しぶりの再会に話が弾んでいました。また、会場では7月豪雨災害復旧への寄附も募られ、参加した会員から79,972円の支援金を寄附いただきました。

**死亡事故ゼロ1,000日達成  
今後も交通安全に気を付けましょう**

11月21日、八峰町役場にて交通死亡事故ゼロ1,000日達成による顕彰伝達式が行われました。

当日は、能代署菊池茂署長が訪れ森田正敏県警本部長名の顕彰が町長へ手渡されました。

11月7日付けで交通死亡事故ゼロ1,000日を達成し、顕彰を受けるのは通算で6回目となりました。

町長は「1,000日はあくまでも通過点。今後も町民への交通安全の周知徹底をしていくとともに、これまでに以上に交通安全に取り組んでいきたい」と話しました。



交通死亡事故ゼロ1,000日達成

**多文化交流会  
だまご鍋づくり**



大いに盛り上がりました

11月12日、八森第1地区コミュニティセンターにて多文化交流会「秋田の郷土料理をつくってみよう」が開催されました。

町内在住外国人に秋田ならではの体験を通じ、八峰町について知ってもらうこと、また町民との交流で互いの文化を理解することを目的としています。当日は、町内在住の外国人と地元住民など計23人が参加しました。おらほの館の会員が講師になり、だまご鍋づくりが行われ、秋田の食に理解を深めました。また、交流会では翻訳アプリでコミュニケーションをしたり、ベトナムの曲を披露したり、地元住民と交流を深めました。

**女性活躍推進講演会  
ワークショップも開催**

11月9日、ファガスにて女性活躍推進講演会およびワークショップが行われました。

この講演会は、八峰町女性活躍推進事業および男女共同参画推進事業の共同事業となります。

講演会は、秋田県理事として男女共同参画や女性活躍推進業務を担当している丹治純子氏を講師として、「一人一人が活躍する町へ」のテーマのもと講演がありました。

ワークショップでは、八峰町F・F推進員が中心となって町内企業の女性による意見交換が行われました。「自分の意識改革が必要」「女性の意見が反映される社会になっていけると良い」など様々な意見が出されました。



異業種によるワークショップ

**八峰町白神ガイドの会へ  
クマよけの鈴と笛の寄贈**



クマよけの鈴と笛の寄贈がありました

11月21日、東北地方郵便局長協会による地域貢献事業として秋田県北部地区郵便局長（小松大太郎会長）から、八峰町白神ガイドの会（斉藤誠悦会長）へクマよけの鈴と笛のセットが寄贈されました。

秋田県北部地区郵便局長会の池田直人山本北部会長（埴川郵便局長）は、一般財団法人東北地方郵便局長協会の活動内容を説明し、「ガイドの方々ももとより、白神山地の観光に訪れる観光客の方々にも、クマの被害に遭わないよう活用していただきたい」と挨拶しました。

斉藤会長は「安心してお客様をご案内できるように、使わせていただきます」と話しました。